

(様式2)

石総企第 87 号

令和2年10月30日

文部科学大臣 殿

石狩市長 加藤 龍幸 印

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

石狩市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

平成30年度～平成31年度（2年間）

（担当）

石狩市教育委員会生涯学習部総務企画課

住所：北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2

電話：0133 - 72 - 3169

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和2年7月～10月

(2) 評価の方法

事業終了後(休校期間終了後)に厚田学園を利用する児童・生徒、教職員並びに保育園利用者、図書館利用者の意見を聞き、それらを踏まえて石狩市教育委員会生涯学習部において、施設整備計画の目標である、「公立の義務教育諸学校等の老朽化対策を図る整備」、「地震、津波等の災害に備えるための整備」、「防犯対策など安全性の確保を図る整備」、「教育環境の質的な向上を図る整備」、「施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備」の5項目について事後評価を実施した。
なお、結果については石狩市ホームページにて公表する。

4. 総合的な所見

市内初の義務教育学校として、旧厚田小学校及び旧厚田中学校、旧聚富小中学校を統廃合し、校舎の新築及び屋内運動場の改修を行ったことで、教育環境の改善を図ることができた。
また、津波による被害の懸念があった旧厚田小学校を、高台の旧厚田中学校跡地に移転したことで、児童・生徒が安全安心して学べる環境を整えられたほか、地域住民の避難場所としても施設整備を行うことができた。
利用者の意見として、光を多く取り入れられており、木の温もりも感じられるなど施設に対して好意的な意見が多いほか、保育園と学園との連携や児童、園児の図書館利用が増えたといった意見も見られ、想定以上の相乗効果も期待される。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

老朽化していた旧厚田中学校の屋内運動場の外部及び内部の大規模改修を行い、建物の損傷個所の修復及び機能低下を解消し、施設の耐久性向上を図ることができた。

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

厚田学園については、高台にあった旧厚田中学校跡地に新設したことにより、就学時における児童・生徒の津波被害の軽減を図ることができた。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

職員玄関をオートロックにし、また外部2か所と校内2か所に防犯カメラを設置して外部からの侵入者対策を講じることができた。

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

校舎の新築及び屋内運動場の改修により、トイレの洋式化や多目的トイレの設置による衛生環境の改善及びエレベーターの設置やバリアフリー化による生活環境の改善を図ることができた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

厚田学園の図書室を地域開放図書館として住民に開放するよう整備を行い、地域に開かれた学校づくりが進められている。

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
厚田学園(旧厚田中学校)	(4)	08	統合(改修)	屋	RS	H30.9～R2.3	R2.3		